

## 1 評価結果から

## (1) 本年度の重点努力目標について

「生徒の自主性を引き出し、誰もが主役になれる学校づくり」を重点努力目標として取り組みました。生徒が目目を輝かせる一瞬、自主性を育む時間を学校生活の様々な場面で作り出せるよう、教育活動にあたってきました。「多様な考え方やアイデアを積極的に生み出すことができる地盤」「他者のために自らの責任を果たしていこうとする意識の向上」「自らの手でよりよい学校生活を構築していく生徒集団」を期待する具体的な姿としてとらえ、実践にあたってきました。

## ○ 関係アンケート項目

**Q7「他者を助けたり、協力したりできたか」** **Q8「自分の考えや気持ちを伝えられているか」**  
**Q19「重点努力目標に取り組めていたか」** **Q20「本年度の取組で生徒の成長が見られたか」**

Q7では肯定的な回答が三者とも86%~92%と高く、令和3年度から3年連続の高水準です。多くの生徒が、他者のために進んで行動することが定着していることが分かります。Q8では、否定的な回答をする生徒が昨年度より減少しました。特に教員の否定的な回答が2割減少し、9割の教員が生徒は自分の気持ちを伝えることができていると感じています。重点努力目標に係るQ19,20では、学校に楽しく通えている生徒が約9割となり、昨年度と同様の結果となりました。ただ、成長を実感できないと感じる生徒と保護者が1割程度いることも昨年度と同様の結果となりました。

学校内では、生徒が主体となって発案、実行する生徒会・委員会活動が活発に行われています。前年度の活動内容にこだわらず、その年の生徒にとって「必要なこと」「楽しめること」が主なテーマです。参加する生徒は思い切り楽しむことで企画を盛り上げ、企画する生徒自身や教員も楽しんで取り組む姿が多く見られます。このように、自分のやりたいことが友達や教員に受け入れられる経験を重ねることで、安心感や信頼感が生まれ、自分の考えや気持ちを伝えられる生徒が増え、そのような生徒が増えたと感じる教員の増加につながったと考えます。また、授業内での話し合い活動の工夫も自分の考えが伝えられる生徒が増加した一つの要因になっているとも考えられます。このような活動の中で、やりがいや楽しさを感じている生徒が多くいる一方で、自らの考えを表現することができなかつたり、学校生活への期待感がもてなかつたりする生徒も一定数見られます。今後も引き続き、他者との関わり方や授業の取組などを見直し、他者を大切に、誰もが自らの考えや思いを安心して表現できる雰囲気づくりに努め、自己肯定感を高める取組を進めたいと考えます。

## (2) 肯定的な回答が多かった項目 (Q7, 8, 19, 20を除く)

**Q9,10「ルールや約束事の順守」「交通ルール、マナー順守」** 校内では、生徒相互が声をかけ合いルールを守ろうとする姿が見られます。校外では、ボランティアに参加した際のマナーの良さを評価していただくことがあります。ただ、今年度は、交通事故の報告が数件ありました。命の尊さや交通ルールの順守を呼びかけ続け、自分の命は自分で守るという意識をもった生徒の育成を図ります。

**Q14,15「学校行事、授業への取組」「自主的な人のための取組」** 今年度は、コロナが5類となり、1年生は名古屋分散学習を3年ぶりに実施することができました。また、蟹中祭の合唱コンクールでは、マスクをとって歌うことができ、ますます積極的に取り組む生徒の姿が見られました。

**Q16「学校は安心・安全で学べる場」** 昨年度に引き続き、三者とも高い評価となりました。すべての生徒にとって、学校がよりよい成長の場となるよう今後も努力していきます。

## (3) 否定的な意見が多かった項目 (Q7, 8, 19, 20を除く)

**Q5「自主的な環境美化」** 昨年度より保護者と教員の肯定的な意見は増えてきましたが、生徒の2割が否定的な回答をしました。「環境が人を育てる」という言葉があるように、学習に集中できる環境を一人一人が意識してつくっていきけるように、物を置く場所や置き方を固定するなど学校や家庭でできる工夫を子どもたちと相談しながら実践していくことが大切だと考えます。

**Q12「予復習、自主学習の取組」** 授業や課題への取組(Q11)では高い評価が見られる一方、自主的な学習については十分ではないようです。学んだことが「生きる力」となって、この先の人生につながるためには、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動していくことがとても大切です。そのためには、生徒、家庭、学校ともに、引き続き意識改革をしていく必要があります。

## 2 保護者からのご意見

(1) Q5「荷物を片づけたり、使う場所の掃除をしたりして、自主的に環境美化に努める」ために、家庭で取り組んでみえること、試してみてもよかったことなどについて

- 片付けや掃除をすると気持ちがすっきりするよと日頃から声を掛ける。
- 休日の部活が無い日はお風呂、トイレ掃除の手伝いを日課にしている。
- 勉強機の整理整頓は日々の日課のため、いつでもきちんと整頓されている。
- 最近の特にはないです。声がけぐらいです。
- 掃除や片付け洗濯物干しなど、複数人で一緒にやるようにしています。一人でやるより早く終わられて、雑談して楽しんでいます。
- 勉強機の上に卓上用の小さいホウキとチリトリを置いたら自分からお掃除するようになった。
- 朝5分だけ掃除や片付けの時間を作っている。
- 時間や年齢に合わせて、出来ることの分担、役割を決めている。または、定期的に声かけする。一緒に掃除をする。
- 片付けとは少し違うかもしれませんが、家の手伝いは「じゃんけん制」です。風呂掃除やほかの手伝いなどはその場にいる全員参加でじゃんけんをして負けた人が行います。親も参加なので、子どもたちが勝ったときは嬉しそうに、負けたときは素直に働いてくれます。片付けは、「6分ルール」というルールがあって、何をしても「6分ルール発動！」の声で、6分間は積極的に手伝いをしなければならないというルールです。5分だと短いし、10分だと長くてやる気をなくすので、6分にしました。人数がいれば、意外と6分でもいろんなことが終わります。
- 学校からのプリントで一眼不要なものは、いったん段ボールに入れて、なるべく学校のファイルには必要最低限のものしか入れないよう努力をしています・・・が、プリントが多いな、と思うのが正直なところです。年度替わりにプリントを処分していますが、子ども一人あたり80～100サイズの段ボール1箱分あります。先生方は、クラスに配付分、ご自身の教科担当分の量を想定されているかと思うのですが、二人いると2箱、三人いると3箱になると、エコとは・・・と思うときがあります。デジタル化されると聞き、この問題が解決されることを期待していましたが、プリントの量も教材の多さも変わりありません。すべての生徒さんに学びの機会をとと思われるかもしれませんが、会社でファイリングの仕事をしていたことがある私でも、負担な量です。しまう場所を整えるのも大事ですが、日々整頓しなければいけないものが多過ぎるのが問題なのでは？と思うことがあります。すぐに対策というわけではなくて申し訳ないのですが、せめて「大事なプリントだから、必ずとっておいて」というものだけ残すようにしていただくとか、ノートに貼るタイプにしてみらうとか、子ども一人が扱いきれる配付物の量にしていだけるとありがたいです。

(2)「本年度の蟹江中学校での学びを通じた成長」について、子どもたちの成長のきっかけとなったと感じられる取組や行事、反対に成長につながらなかったと感じられる取組や行事（改善策など）について

- 小学生の時に比べ、はるかに勉強する時間が増えたので、学習面では成長していると感じます。
- 体育祭でブロック演技係をやらせていただき、クラスの子に教えるため一生懸命努力している姿を見て、より責任感が強くなったと感じました。
- 体育祭の大縄跳びは、全員で力を合わせる事ができ、自分の中ではとても思い出の深い一つだと言っていました。
- 蟹中祭で創作ダンス係として活動しました。同じ目標に向かって活動していく中でお互いの意見をすり合わせることの難しさを子供なりに感じていました。とてもいい経験ができたと思っています。
- 文化祭の合唱です。生徒、先生方もすごく一生懸命に取り組んでいて、感動しました。
- 文化祭の合唱、クラスにまとまりが出来たようでした。
- 合唱コンクールは、練習から力を合わせて取り組んでいる様子が目に浮かぶ。
- 体育祭や、文化祭、ボランティアなど。
- 体育祭では集中する姿を見ることができよかったですと思います。文化祭では有志発表に向け自分なりに取り組むこと、表現することができたことがよかったですと思います。
- 学校祭や学年集会など日常よりもちょっと負荷がかかったときに、自分の役割を果たすことや周りの人のことについて考えることの大切さを学んだように思います。上手くいかないことが多々あったよ

うですが、いつも近くで先生方がサポートしてくださったお陰で、乗り越え成長することができたと思います。ありがとうございます。また、メリハリがあり楽しい学年の雰囲気の中での日常生活も成長のきっかけになっていると思います。

- 子どもは愛活委員会に所属していて、最近の募金活動では被災地域、被災者のことを考えることができ、成長につながったと思います（本人談です）。
- 挨拶運動について。挨拶運動以外日でも学校へ少し早く行くようになりました。
- 成長につながらなかったと感じることは特にありません。
- ようこそ先輩は私は参加できませんでしたが、子供からは話を聞いて終わりだったという感想でした。まだ社会人の自分を想像できていない子供たちが多いと思うので、難しいのかなと思いました。

### (3) その他のご意

- 恥ずかしがり屋な性格はなかなか改善されず、進んで挨拶ができないのが、とても残念です。
- 全てのアンケート結果において、親や先生より子供たちは、4.大変よくできた。と断言できる生徒が多く、子供たち自身の満足度が高い評価に少し安心しました。
- いつもありがとうございます😊
- 体育祭で3学年が同じブロックで一つになり、協調性をもって助け合いながら目標に向かってがんばることで生徒が成長しているのではないかと思います。また、3年生は、最高学年で最後の体育祭で悔いのないように積極的に責任をもって行動することによってより成長につながっているのではないかと感じます。
- 学校カバンがとても重そうで足腰を痛めないか心配です。
- いつも子どもたちの成長のために尽力していただき、とても感謝しています。先生方のおかげで、日々子どもが成長していると実感しておりますし、子どもは学校を楽しんでいます。ただ、先生方がお忙しいのは承知しておりますし、働き方改革ってこともあるので、部活動が少ないのもわかりますが、主顧問の先生が休むと練習や練習試合がなくなっている現状に子どもはとても残念に思っています。副顧問の先生がいらっしゃる子どもから聞いておりますが、その先生に見ていただくことはできないのでしょうか？
- 1年生ですが、各教科の教材(マイペース)に追われることなく、自分の勉強時間が確保できるよう良いと思いました。全体の学力に影響があるのかわかりませんが。

## 3 令和6年度に向けて

### (1) 令和5年度の重点努力目標について

新型コロナウイルスが5類扱いとなり、従来の教育活動が戻ってきた本年度は、昨年度以上に生徒が自分たちで企画・実行し、楽しむ機会を多く設定することができました。生徒の多くがその機会を大切にし、運営側ではなくても積極的に参加することで、「主役」となって活動する姿が見られました。このことが、約9割の生徒が「学校に楽しく通えている」と回答することにつながったと考えます。しかし「あまり楽しくない」「楽しくない」と回答する生徒や学校に通えない生徒も存在します。

以上のことから次年度は以下の2点を重視した取り組みが必要と考えています。

- 生徒自身が考え決定する機会をより多くもち、主体的に取り組める環境づくりの継続
- 誰一人取り残さない教育を実現するために、教師による個に応じた支援・指導の充実とともに切れ目ない支援の推進に向けた家庭や福祉、医療など外部機関との連携

### (2) 自主的に環境美化に努めることについて

各家庭でのさまざまな工夫を回答していただきました。「どの生徒にも必ず当てはまるよい方法がある」というよりも、試行錯誤をして一人一人に合った方法を見つけることが大切だということが感じられます。また、学校が配付するプリントについて、家庭への連絡はメール配信をすることで削減を図っていますが、授業で配付するプリントについても処理の仕方の見直しや精選を図っていきます。

### (3) 本年度の蟹江中学校での学びを通した成長

保護者からのご意見にもあるように、生徒が成長するためには、「クラス全員で何かをやり遂げること」や「普段は経験しづらい苦勞をすること」、「教師と生徒が一緒になって活動すること」が重要だと考えられます。次年度は、生徒の失敗を成長のチャンスととらえ、生徒自らが考える時間と場をさらに提供し、生徒の成長を促していきたいと考えます。